

（寄稿）

## 「車いす目線から巡る七尾の旅」20

桶屋 善一

皆さん、お元気でいらっしゃいますか。私は2月に胆石になり、緊急手術をして2週間程入院しました。3月にはノロウイルスになり、つらい思いをしました。ノロウイルスは本当に辛かったです。コロナより辛かったです。皆さん、健康に気をつけて過ごしましょう。

さて、前号で能登半島地震について、青山彩光苑の現状を書きました。あれから4ヶ月が過ぎました。能登地方ではまだまだ不自由な生活をなされている方々がいらっしゃいます。一番のネックとなっているのは水、水道がまだまだ届いていない地域、家庭が多くあります。七尾市の水道管の工事が終了しても、水道管から家庭内への配管工事が遅れており不自由な生活をされている家庭が多くあります。

青山彩光苑でも同じことが起こっており、七尾市の配管工事が終了しましたが、苑内の配管工事が4月下旬から始まりました。現在、大きな穴を機械で掘り、テレビニュースで見ると、水道パイプを取り出しています。これから本格的に水道パイプの工事になるのだと思います。早く工事が無事に完了し、普段通りに水が使えるようになることを願うばかりです。

### \* 七尾線の車内について \*

※おことわり：七尾駅構内、ホーム、列車への乗車については、以前に和倉温泉のときに書きましたので、省略させていただきます。

この体験は2018年のことです。七尾線の車両は2020年の秋に北陸線に走っているような、新車両の413系になり、通路が広がっています。

七尾線は石川国体が行われた平成3年10月まで、電化ではなく、オレンジ色の気動車で走っていました。輪島、珠洲まで鉄道が走っていました。国体がきっかけで、七尾線は電化されて新車両になりました。電化されたおかげで、特急サンダーバードが和倉温泉駅まで走るようになりました。



### 左右座席間の 通路幅は 62cm

電化されてから走っていた電車は、415系 800番台の車両です。この電車に乗り、金沢、富山などへよく行きました。車いすは車両の通路はお客さんの歩行に邪魔になるので、電車の乗降口に乘っていました。車両内の詳しいことは写真を見て頂ければうれしく思います。

（右の写真は七尾線を走っている車両・415系 800番台）



今年3月に北陸新幹線が敦賀まで開業後は、サンダーバードが敦賀止まりとなりました。サンダーバードで大阪まで乗り換えなしで行くことが出来なくなり、残念です。

（左の写真は七尾線を走っている車両・413系）

～次号へ続く～